



第2次安城市スポーツ振興計画 スポーツに関する基礎調査報告書 【ダイジェスト版】



1 調査概要

(1) 調査方法

	一般成人向け調査	中学生、高校生向け調査
調査対象者数	・安城市内在住の20歳以上の市民	・安城市内在住の中学生 (市内8中学校の2年生各1クラス) ・高校生 (市内5高校の高校2年生40名)
標本数	4,000名	中学生:283名 高校生:200名
抽出方法	無作為抽出	—
調査方法	郵送による配布・回収、及びインターネット回答による回収	各学校を通じて配布・回収
調査期間	令和3年11月19日(金) ～令和3年12月10日(金)	令和3年11月19日(金) ～令和3年12月10日(金)

(2) 回収結果

	一般成人向け調査	中学生、高校生向け調査	
		中学生	高校生
総配布数	4,000件	283件	200件
回収数	1,706件 (うちインターネット回答524件)	283件	200件
回収率	42.7%	100.0%	100.0%

第2次安城市スポーツ振興計画では、成人の週1回以上のスポーツ実施率【53%】の実現を目指して、以下の7つの基本方針と3つの重点施策を掲げ、施策を展開しています。

基本方針		重点施策
1 「する」スポーツの振興	2 「みる」スポーツの振興	1 ラジオ体操の普及啓発
3 「おしえる」スポーツの振興	4 「ささえる」スポーツの振興	2 企業とのスポーツ連携の強化
5 スポーツ施設環境の整備	6 スポーツ団体等の育成・支援	3 オリンピック・パラリンピックに関連した取り組み
7 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興		

2 調査結果

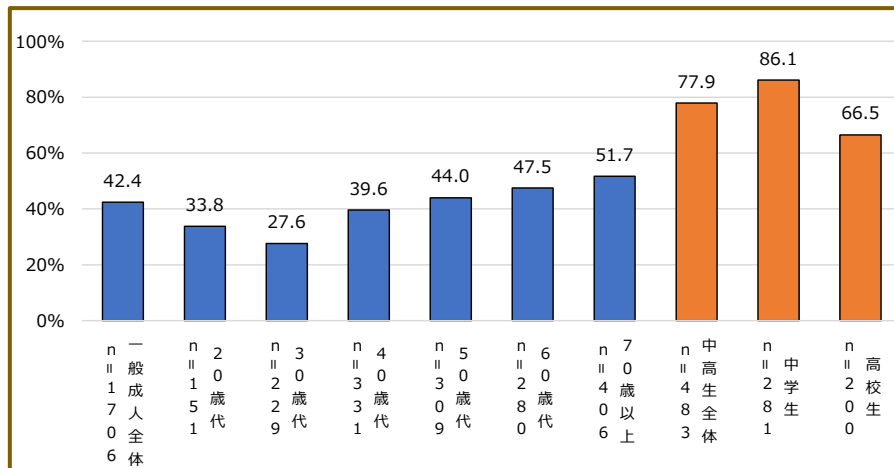
(1)「する」スポーツについて

① 週1日以上スポーツ実施率 基本方針1

一般成人の週1日以上スポーツ実施率は42.4%となっています。中高生の週1日以上スポーツ実施率は77.9%となっています。

また、過去の調査と比較すると、一般成人の週1日以上スポーツ実施率が若干低くなっていますが、中高生ではやや高くなっています。

【週1日以上スポーツ実施率】



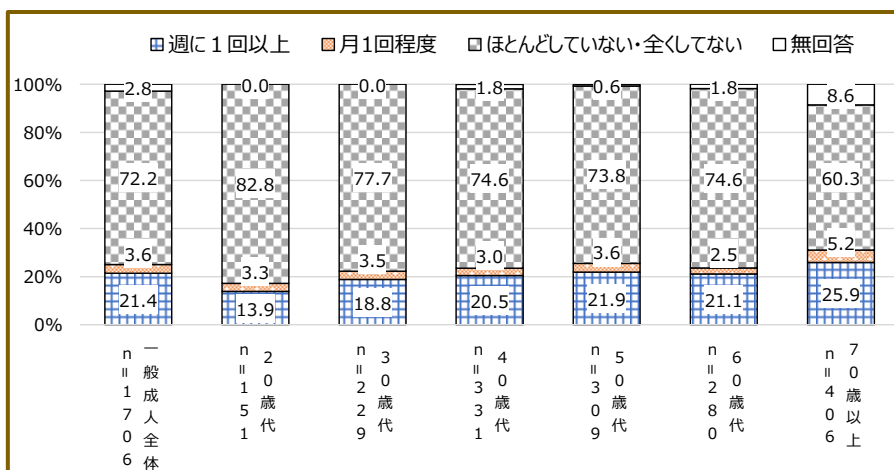
週1日以上スポーツ実施率	一般成人	中高生
令和3年度調査	42.4%	77.9%
平成25年度調査	43.1%	76.4%

② ラジオ体操の頻度 基本方針1・重点施策1

一般成人のラジオ体操の頻度について、週1回以上のラジオ体操実施率は21.4%となっています。年齢別にみると、特に20歳代で週1回以上のラジオ体操実施率が低くなっています。

また、今回調査では令和2年度調査に比べて週1回以上のラジオ体操実施率はやや高くなっています。

【ラジオ体操の頻度】



ラジオ体操の頻度	週に1回以上	月に1回程度	ほとんどしていない 全くしていない
令和3年度調査	21.4%	3.6%	72.2%
令和2年度モニターアンケート	18.2%	3.2%	78.6%

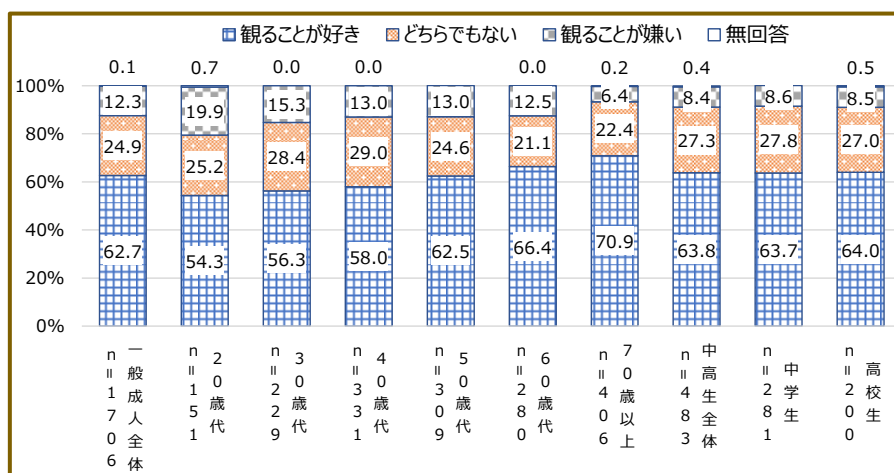
(2)「みる」スポーツについて

① スポーツ観戦の好嫌度 基本方針2

一般成人では、スポーツを観ることが“好き”なのは62.7%となっています。年齢別にみると、高齢層ほどスポーツを観ることが好きである人が多くなっています。中高生では、スポーツを観ることが“好き”なのは63.8%となっています。

過去の調査と比較すると、スポーツを観ることが“好き”の回答について、一般成人、中高生ともに大きな差はありません。

【スポーツ観戦の好嫌度】



スポーツ観戦の好嫌度		観ることが好き	どちらでもない	観ることが嫌い
一般成人	令和3年度調査	62.7%	24.9%	12.3%
	平成25年度調査	62.6%	26.2%	11.0%
中高生	令和3年度調査	63.8%	27.3%	8.4%
	平成25年度調査	63.8%	22.3%	13.3%

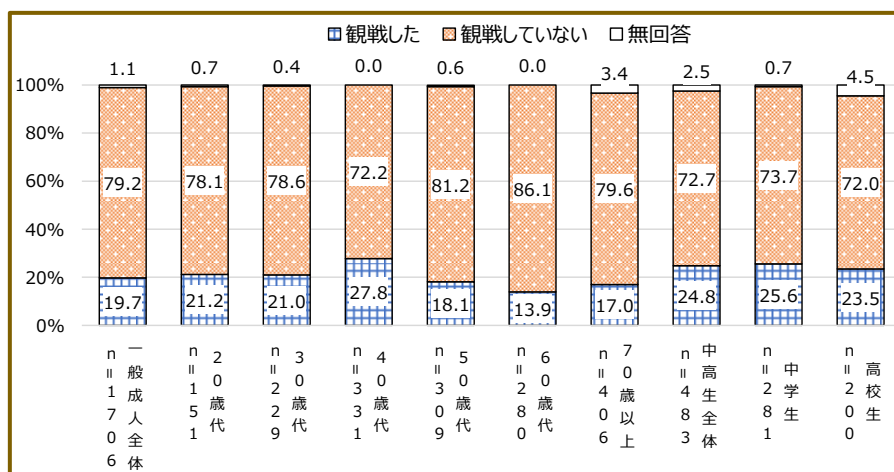
② スポーツの観戦状況 基本方針2

一般成人が過去1年間に直接スポーツの試合を観戦した割合は19.7%となっています。中高生が過去1年間に直接スポーツの試合を観戦した割合は24.8%となっています。

過去の調査と比較すると、一般成人、中高生ともに観戦した割合が減少しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民の外出の自粛に加え、スポーツの試合・大会の中止や開催されても無観客で行わなければならない等、スポーツを観戦する機会そのものが減っていることが原因の一つとして考えられます。

【スポーツの観戦状況】



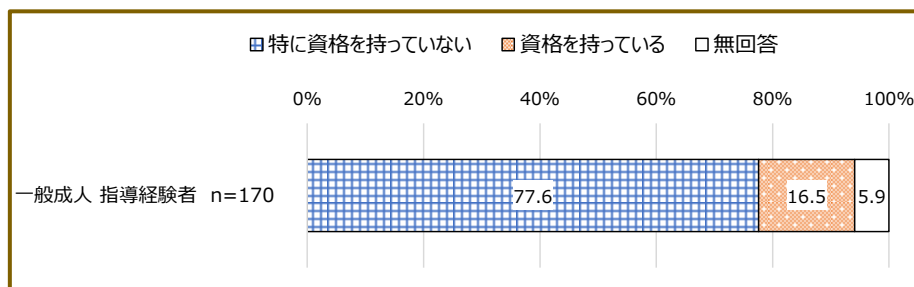
スポーツ観戦の状況		観戦した	観戦していない
一般成人	令和3年度調査	19.7%	79.2%
	平成25年度調査	36.0%	60.9%
中高生	令和3年度調査	24.8%	72.7%
	平成25年度調査	35.2%	63.5%

(3)「おしえる」スポーツについて

① スポーツ指導者の資格保有率と抱えている問題点 基本方針3

スポーツ指導経験者にスポーツに関する資格の保有について尋ねたところ、特に資格を持っていない割合が 77.6%、資格を持っている割合が 16.5%と、平成 25 年度調査と同様に多くの指導経験者が資格を保有していないと回答しています。

【スポーツ指導者の資格保有率】

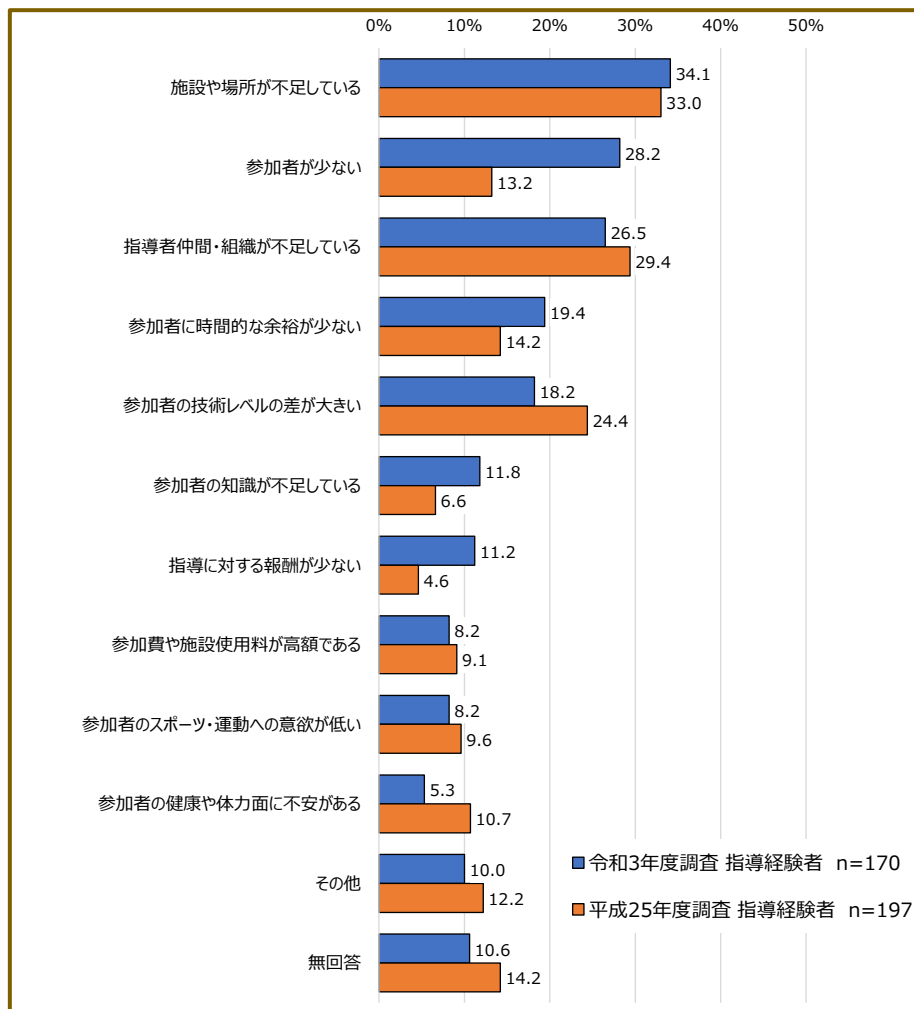


スポーツ指導者の資格保有率	特に資格を持っていない	資格を持っている
令和3年度調査	77.6%	16.5%
平成25年度調査	66.5%	15.7%

スポーツ指導をする際の問題を尋ねたところ、「施設や場所が不足している」、「参加者が少ない」、「指導者仲間・組織が不足している」が平成 25 年度調査と同様に多く回答されています。

スポーツ・運動をするための場所の確保や指導者の育成を含めた指導環境の整備に加え、気軽に参加できるようにするなど、指導者の負担軽減ややりがいの向上を図る必要があると考えられます。

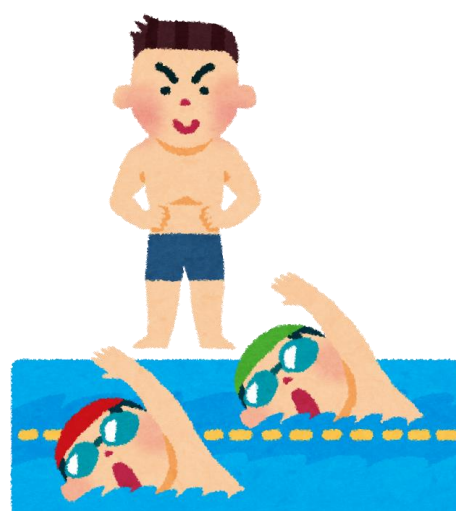
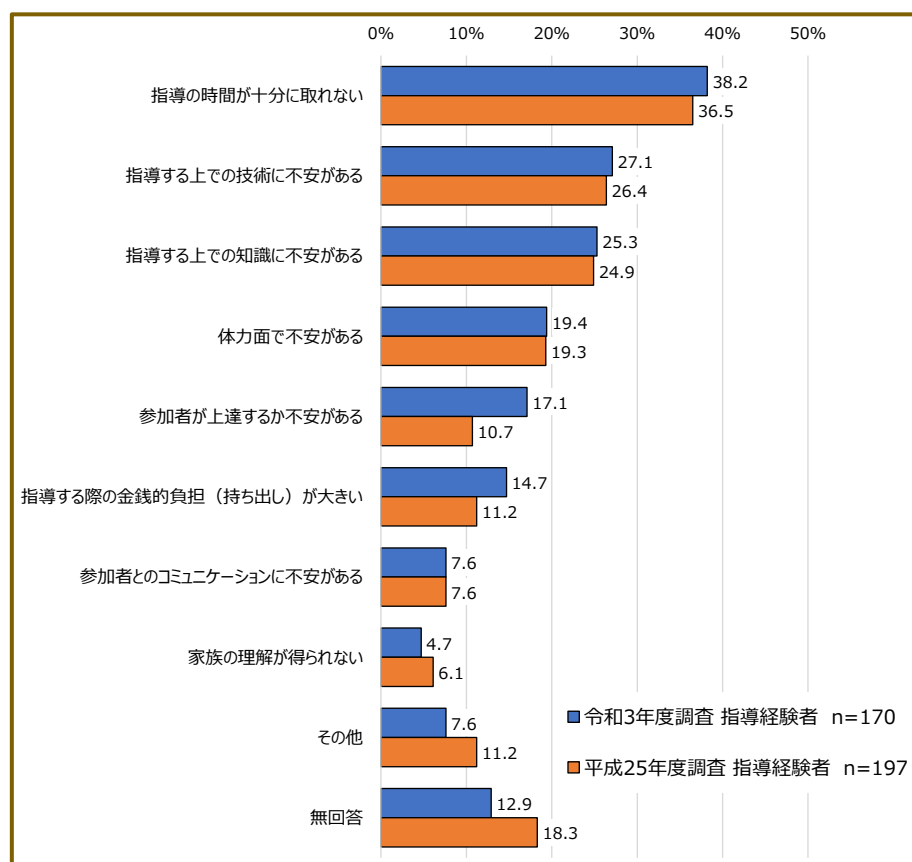
【スポーツを指導する際の問題】



スポーツ・運動の指導を行う上で自身が抱えている問題を尋ねたところ、「指導の時間が十分に取れない」、「指導する上での技術に不安がある」、「指導する上での知識に不安がある」が平成25年度調査と同様に多く回答されています。

スポーツ指導者が時間的な問題を抱えていること、スポーツ指導をする上で自身のスキルに不安を持っていることが引き続き問題として考えられていることがうかがえます。

【スポーツ指導者が抱えている問題点】



(4)「ささえる」スポーツについて

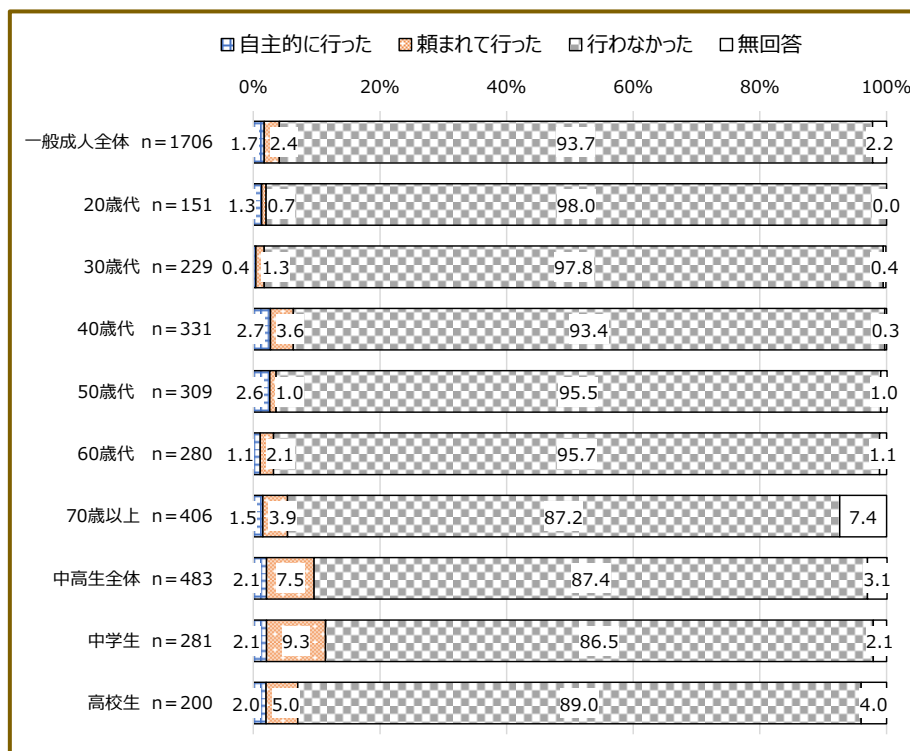
① 過去1年間のスポーツボランティアの実施率 基本方針4

一般成人が過去1年間にスポーツボランティアを行った割合は、「自主的に行った」、「頼まれて行った」をあわせて4.1%となっています。

また、中高生が過去1年間にスポーツボランティアを行った割合は、「自主的に行った」、「頼まれて行った」をあわせて9.6%となっています。成人と比較すると、約2倍となっており、中高生の方がスポーツボランティアの定着が進んでいることがうかがえます。

過去の調査と比較すると、一般成人、中高生ともにスポーツボランティアを行った割合が減少しています。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スポーツの試合・大会の中止や規模縮小の影響でスポーツボランティアを実施する機会そのものが減ってしまっていることが原因の一つと考えられます。

【過去1年間のスポーツボランティアの実施率】



スポーツボランティアの実施率		自主的に行った	頼まれて行った	行わなかった
一般成人	令和3年度調査	1.7%	2.4%	93.7%
	平成25年度調査	2.6%	4.8%	89.9%
中高生	令和3年度調査	2.1%	9.3%	87.4%
	平成25年度調査	6.7%	7.9%	83.8%



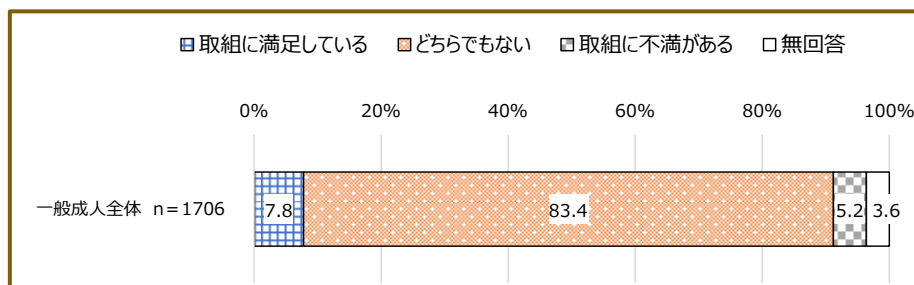
（５）市のスポーツ施策について

① 市のスポーツ施策・取組の満足度 全ての基本方針・重点施策

市のスポーツ施策・取組の満足度について、「どちらでもない」の割合が83.4%と多くっており、市が実施する施策・取組にあまり関心が持たれていない様子がうかがえます。

過去の調査と比較すると、「取組に満足している」と「取組に不満がある」がともに減少している一方で、「どちらでもない」の回答が増加しており、満足度の高いスポーツ振興の施策・取組をさらに行っていくとともに、積極的な周知も必要になると考えられます。

【市のスポーツ施策・取組の満足度】



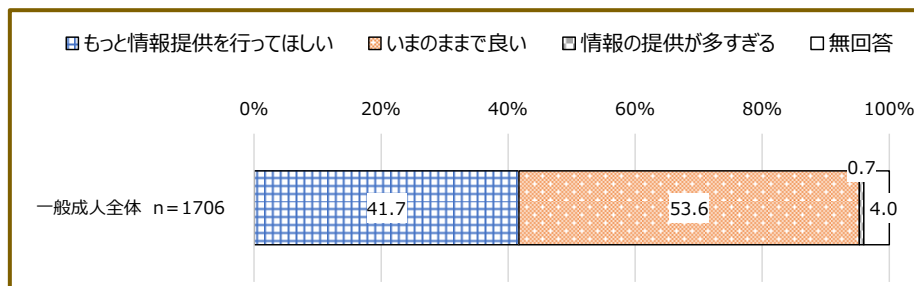
市のスポーツ施策・取組の満足度	取組に満足している	どちらでもない	取組に不満がある
令和３年度調査	7.8%	83.4%	5.2%
平成 25 年度調査	9.0%	79.0%	6.6%

② スポーツに関する情報提供 全ての基本方針・重点施策

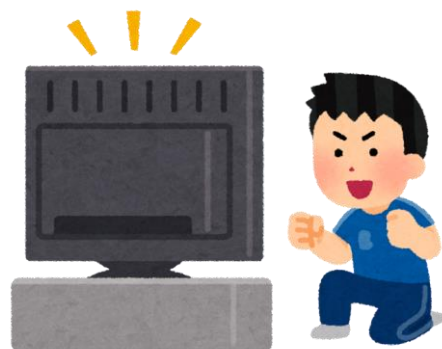
スポーツに関する情報提供について、「もっと情報提供を行ってほしい」の割合が41.7%となっており、広報や情報提供のニーズが高いことがうかがえます。

過去の調査と比較すると、「いまのままで良い」の回答が増加しており、情報提供については一定の評価を得ていると考えられます。

【スポーツに関する情報提供の満足度】



ラジオ体操の頻度	もっと情報提供を行ってほしい	いまのままで良い	情報の提供が多すぎる
令和３年度調査	41.7%	53.6%	0.7%
平成 25 年度調査	46.3%	44.6%	0.6%

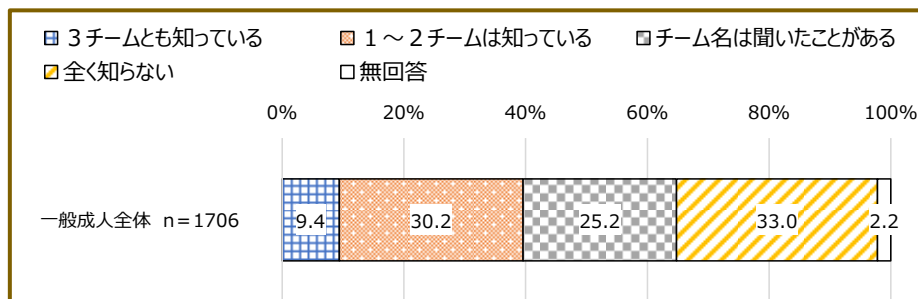


③ 企業チームの認知度 基本方針6・重点施策2

市内に拠点を置く3つの企業チームの認知度について、「3チームとも知っている」が9.4%、「1～2チームは知っている」が30.2%、「チーム名は聞いたことがある」が25.2%、「全く知らない」が33.0%となっています。

また、今回調査では令和2年度調査に比べて“知っている”の割合は減少しています。

【企業チームの認知度】



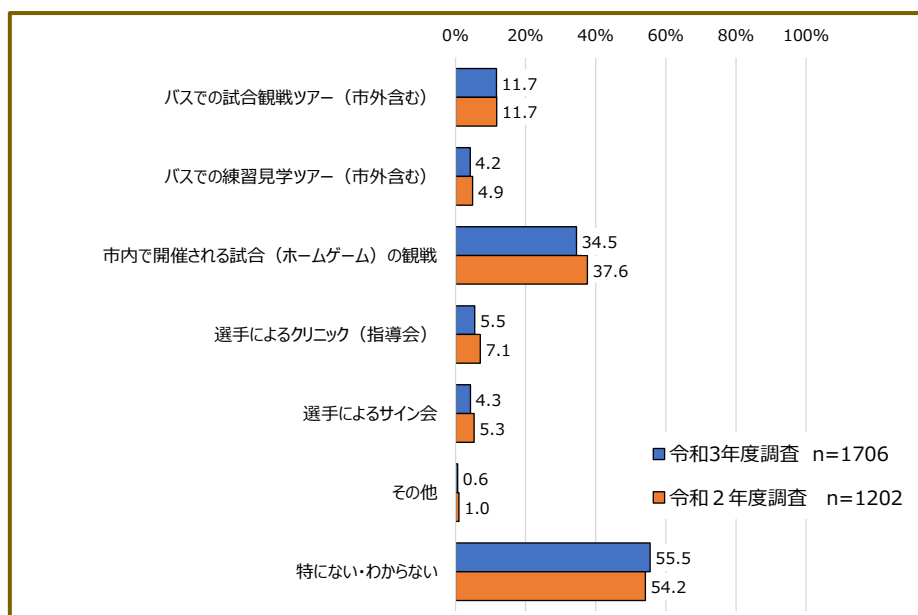
企業チームの認知度	3チームとも知っている	1～2チームは知っている	チーム名は聞いたことがある	全く知らない
令和3年度調査	9.4%	30.2%	25.2%	33.0%
令和2年度eモニターアンケート	11.1%	37.2%	25.0%	26.6%

④ ホームチームサポーター事業の企画 基本方針6・重点施策2

参加してみたいホームチームサポーター事業の企画について、「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が34.5%で最も多くなっています。

また、今回調査と令和2年度調査を比較すると、いずれも「市内で開催される試合（ホームゲーム）の観戦」が最も多くなっています。

【ホームチームサポーター事業の企画】



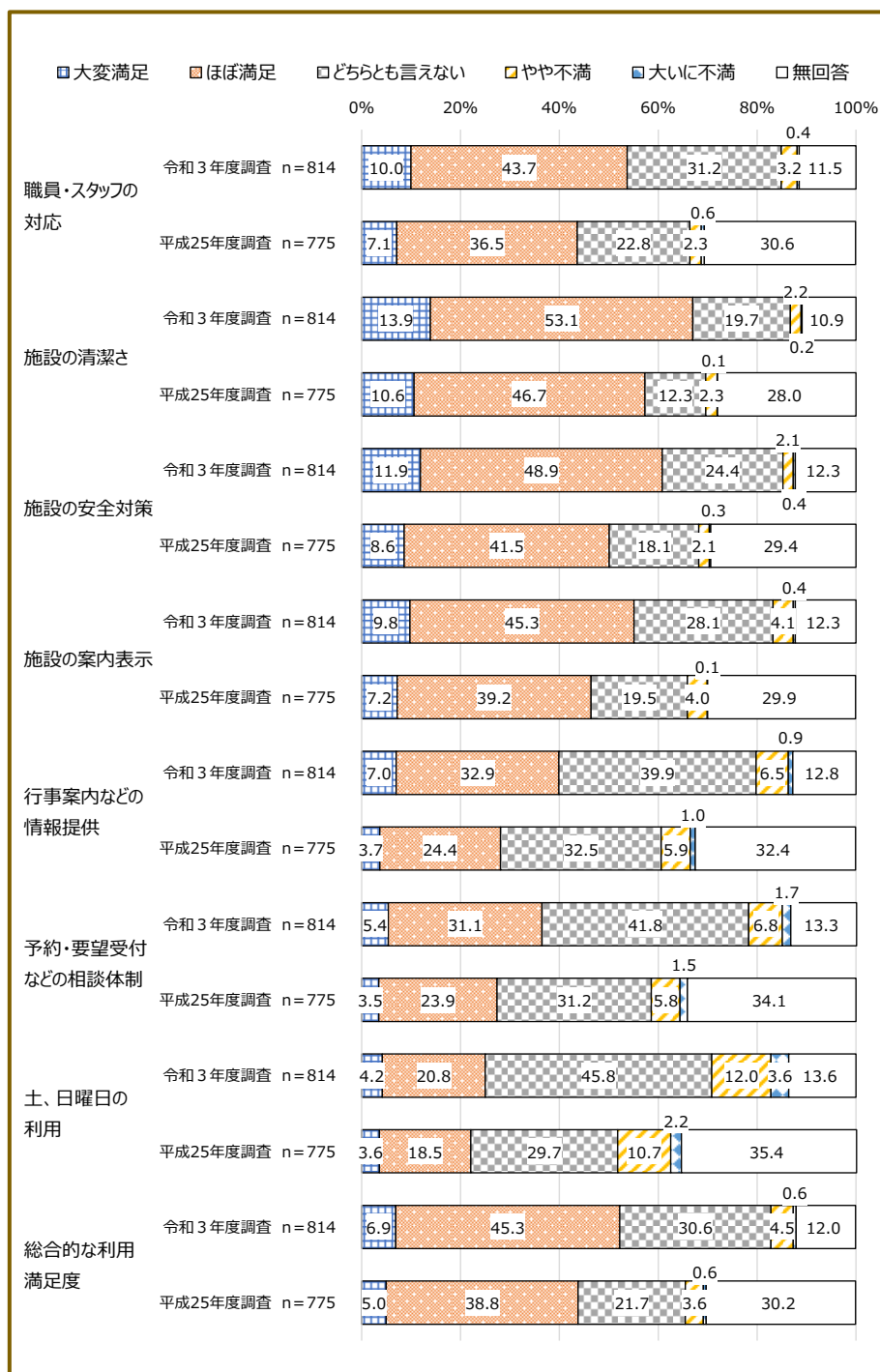
(6) 施設利用について

① 総合運動公園内スポーツ施設の利用満足度 基本方針5

総合運動公園内のスポーツ施設利用について、総合的な利用満足度では、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足”が52.2%となっています。項目別にみると、“満足”の回答が多いのは、「施設の清潔さ」、「施設の安全対策」、「施設の案内表示」といった、施設のハード面が多く、一方、“不満”が多いのは「行事案内などの情報提供」、「予約・要望受付などの相談体制」、「土・日曜日の利用」となっており、ソフト面での不満が多く回答されています。

過去の調査と比較すると、全体的に“満足”の回答が増加しており、特に「予約・要望受付などの相談体制」の満足度が最も多く増加しています。

【総合運動公園内スポーツ施設の利用満足度】



(7) オリンピック・パラリンピックについて

基本方針7・重点施策3

① オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まり

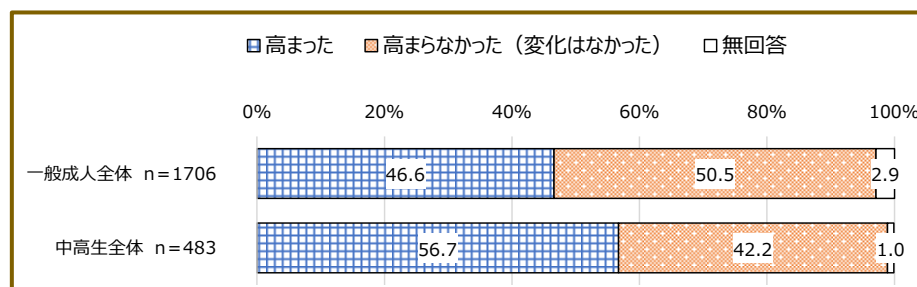
2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の変化について、一般成人では「高まった」が46.6%、中高生では56.7%となっています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じて関心の高まったスポーツについて、一般成人では「みる」スポーツが最も多くなっています。年齢別にみると、いずれの年代でも「みる」スポーツが最も多くなっていますが、20歳代から40歳代の若い年齢層では「する」スポーツが3割程度と比較的多く回答されています。

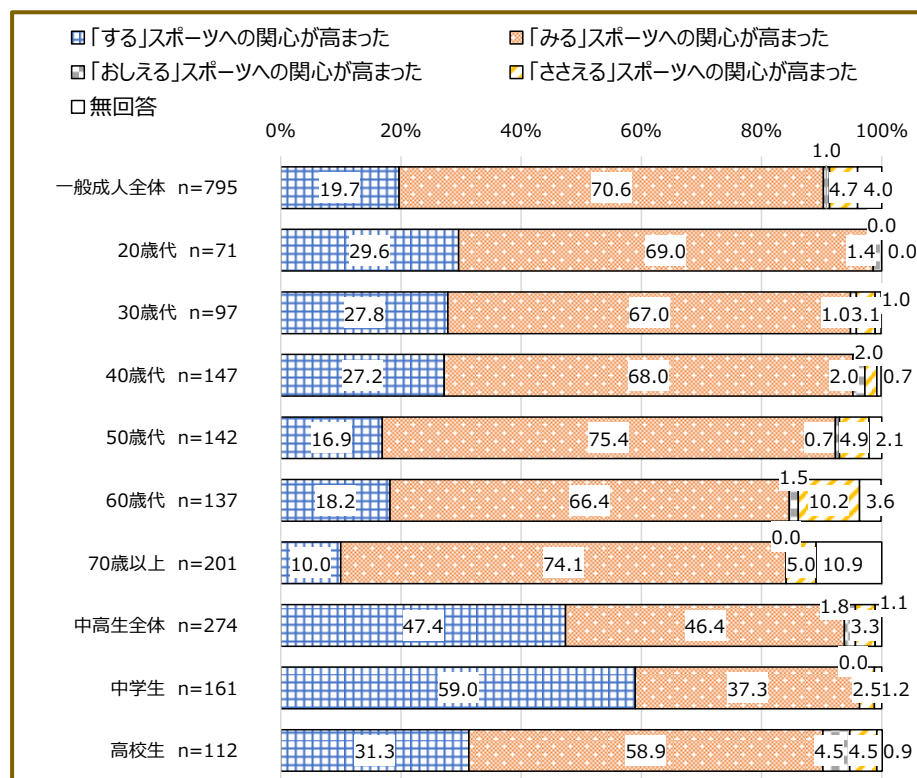
中高生では「する」スポーツ、「みる」スポーツがともに多くなっています。中高生別にみると、中学生で「する」スポーツが、高校生では「みる」スポーツが、それぞれ多く回答されています。

また、一般成人、中高生ともに「おしえる」スポーツや「ささえる」スポーツへの関心は大きく高まっていない事がうかがえます。

【オリンピック・パラリンピックの開催を通じたスポーツに対する関心の高まり】



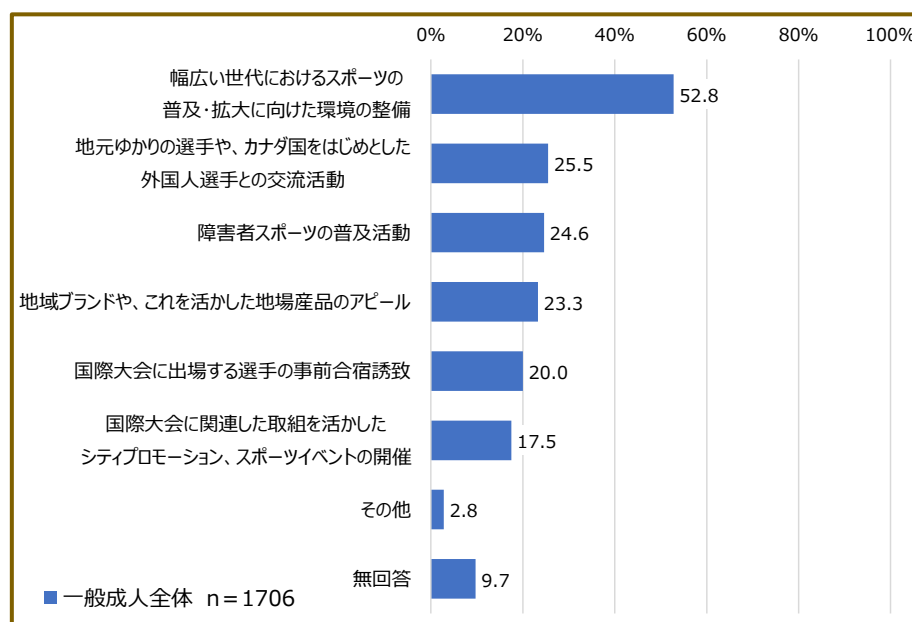
【オリンピック・パラリンピックの開催を通じて関心の高まったスポーツ】



② 安城市が今後取り組んでいくことが望ましいことについて 基本方針7・重点施策3

東京オリンピック・パラリンピックの開催が開催されたことを踏まえ、安城市が今後取り組んでいくことが望ましいことについて、「幅広い世代におけるスポーツの普及・拡大に向けた環境の整備」が52.8%で最も多くなっています。東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じ、スポーツに対する関心が高まった市民が多くいることから、様々な課題・問題への対応を図りつつ、市全体でスポーツ振興を推進していくことが重要です。

【安城市が今後取り組んでいくことが望ましいこと】



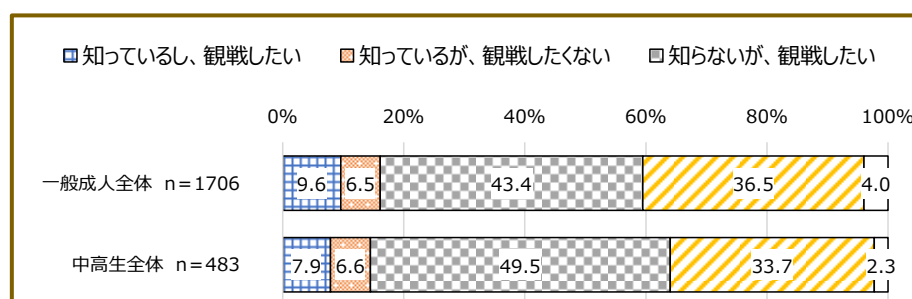
(8) アジア競技大会について

① アジア競技大会の認知度と観戦意向 基本方針7・重点施策3

2026年に愛知県（名古屋市）で開催されるアジア競技大会の認知度と観戦意向について、「知っているし、観戦したい」と「知っているが、観戦したくない」を合わせた“知っている”の回答は、一般成人では16.1%、中高生では14.5%となっており、「知っているし、観戦したい」と「知らないが、観戦したい」を合わせた“観戦したい”の回答は、一般成人では53.0%、中高生では57.4%となっています。

また、今回調査では令和2年度調査に比べて“知っている”の割合はやや増加していますが、“観戦したい”の割合がやや減少しています。

【アジア競技大会の認知度と観戦意向】



アジア競技大会の認知度と観戦意向	知っているし、観戦したい	知っているが、観戦したくない	知らないが、観戦したい	知らないし、観戦したくない
令和3年度調査	9.6%	6.5%	43.4%	36.5%
令和2年度eモニターアンケート	10.6%	4.3%	48.2%	37.7%



発行 令和4年1月

編集 安城市教育委員会生涯学習部スポーツ課

〒446-0061 安城市新田町新定山 41-8 (総合運動公園内)

Tel 0566-75-3535 / Fax 0566-77-9293

URL <https://www.city.anjo.aichi.jp/index.html>